

○コシヒカリの1回目の穂肥時期が迫っています。必ず生育診断を行い、慎重に施用を判断しましょう。
 ○早生（ゆきん子舞、こしいぶきなど）は2回目の穂肥時期です。後期栄養の維持のため、確実に施用しましょう。
 ○各地で葉もちの発生がみられています。ほ場をよく見回り、発生がみられたら防除を行いましょう。

1 現在の生育状況 (6月29日データ)

(調査地区平均)

	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉数 (葉)		葉色 (SPAD)	
	本年	指標値比 (指標値)	本年	指標値比 (指標値)	本年	指標値差 (指標値)	本年	指標値差 (指標値)
コシヒカリ	56	104% (54)	463	96% (480)	9.9	0.1 (9.8)	40.1	2.1 (38.0)
こしいぶき	56	106% (53)	506	96% (520)	10.6	0.7 (9.9)	39.1	-0.9 (40.0)

- ・草丈はやや長く、茎数・葉数の進みは並、葉色は濃い状況です。
- ・中干しは出穂1か月前までに終了しましょう。長く干していると、葉色の低下が始まります。間断かん水に移行し地耐力の確保をするとともに、無効分けつを抑制をしましょう。

2 幼穂形成期及び出穂期予想と穂肥施用時期の目安 (6月29日現在)

本年の出穂期は平年よりも2日程度早いと予想されます。

品種名	田植日 (例)	予想 出穂日	穂肥1回目		穂肥2回目		2回合計 窒素量 (kg/10a)
			出穂前日数	施用時期	出穂前日数	施用時期	
新潟次郎	5月3日	7月14日	25	6月19日	14	6月30日	6
ゆきん子舞	5月3日	7月21日	25	6月26日	14	7月7日	5
こしいぶき	5月5日	7月23日	23	6月30日	14	7月9日	3
コシヒカリ	5月10日	8月2日	18	7月15日	10	7月23日	1~3

- ・中山間地域は上表よりも2~3日ほど生育が遅い見込みです。
- ・分施の場合は、必ず幼穂を確認し施用時期に遅れないように湛水して穂肥を施用しましょう。
- ・コシヒカリは草丈が長い場合や葉色が濃い場合は倒伏するので、1回目の穂肥は遅らせるか、施用を中止しましょう。
- ・2回目の穂肥は、後期栄養を維持し、品質低下を回避するために必ず穂肥を施用しましょう。

3 生育診断

ほ場ごとに幼穂を確認してから穂肥を施用しましょう。

〈幼穂長の確認方法〉

〈その1 カッターなどで割る〉

〈その2 葉鞘をむく〉



【幼穂長と出穂前日数の目安】

出穂前日数	23日	20日	18日	12日	10日
幼穂長 (cm)	0.1	0.2~0.4	0.5~1.0	4.0~6.0	8.0~11.0

【穂肥施用量の目安】

品 種	穂肥使用 (例)	1 回目	2 回目
ゆきん子舞	穂肥 520 号 (N 成分 15%)	20kg/10a (N 3.0kg)	13kg/10a (N 2.0kg)
こしいぶき	穂肥 520 号 (N 成分 15%)	10kg/10a (N 1.5kg)	10kg/10a (N 1.5kg)
コシヒカリ	越後の輝き有機50穂肥 (N 成分 12%)	8~12kg/10a (N 1.0~1.5 kg)	8~12kg/10a (N 1.0~1.5 kg)

◎ 基肥一発体系は必ず1回目穂肥時期に稲姿を確認し、目安以下の葉色にさめた場合は、2回目の穂肥時期に追肥してください。

【ポイント】

・生育診断をして穂肥量を調整しましょう！

1回目の穂肥時期は、籾が形成される時期ですが同時に下位節間の伸長する時期でもあります。

コシヒカリは倒伏しやすい品種のため、必ず生育診断をして穂肥量を調整しましょう。

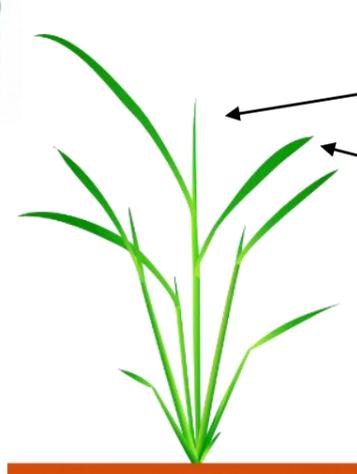
- ① 草丈を測定しましょう
- ② 葉色を測定しましょう（右図参照）

◎生育診断時の稲姿の目安

品種	草丈 (cm)	葉色 (カラースケール)	葉色 (SPAD)
コシヒカリ	75	3.5~4.0	33 (31~35)

【葉を板から、1cm程離して平行に見る】

ほ場内の平均的な株を測定

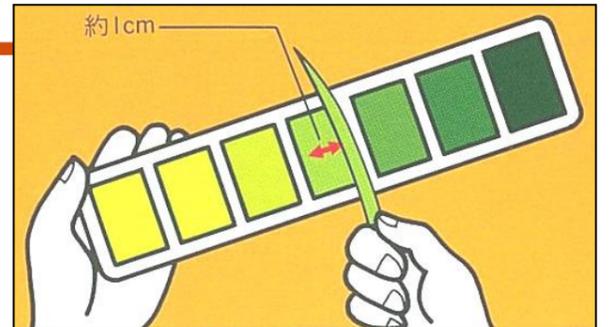


現在伸びている葉

その2枚下の葉



葉色カラースケールで確認



(注1) 草丈、葉色の数値が上表より大きい場合は、1回目の穂肥は遅めにするか施用しないようにしましょう。

(注2) 1回目の穂肥の前に葉色が葉色カラースケールで3.0以下に低下した場合は、穂肥施用の時期を早めましょう。

コシヒカリ1回目穂肥施用の目安

出穂20日前（幼穂長0.4cm時）の草丈と葉色診断結果により判断

草丈 75 cm以下、葉色 3.5~4.0 (SPAD 値：31~35) を目指しましょう。

SPAD		31未満	31~35	35以上
カラースケール		3.5未満	3.5~4.0	4.0以上
草丈 (cm)	70未満	●	○	△
	70~75	○	○	△
	76以上	△	△	×

【右表の見方】

- → 高温・少雨が予想される場合は遅れないように注意
- → N成分で1.0~1.5kg/10a程度散布
- △ → 散布時期を遅らせる、もしくは量を減らす
- × → 1回目は散布しない

4 いもち病発生状況

葉月みのり、こしいぶき、新之助等で葉いもちの発生が確認されています。葉いもちを放置すると、穂いもちへの感染源となり、収量・品質に大きく影響します。ほ場をよく見回り、葉いもちの発生が見られた場合は、ただちに薬剤防除を実施しましょう。



補植苗が発生源となり多発生しています！残っている場合はただちに撤去！

◎ SNS・メールで情報提供しています！

＜JA えちご中越柏崎地域営農情報＞



アカウント ID : @882qbimy

＜柏崎農業普及指導センター メールマガ＞

登録方法

- ①QRコードを読み取る
- ②件名「メールマガジン申込」本文「氏名、電話番号」を入力してメールを送信
- ③次のアドレスからのメールが受信できるよう設定



kashiwazakinou@pref.niigata.lg.jp

【お問い合わせ先】

全地区共通

柏崎農業普及指導センター 21-6263

東部田尻・西中通・高柳

かしわざき営農センター 35-8188

南部高田・中央柏崎地区

かしわざき南部営農センター 41-6087

刈羽・西山地区

かしわざき北部営農センター 45-2258

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、新潟県農業共済組合中越支所、えちご中越農業協同組合、柏崎土地改良区 柏崎農業普及指導センター（新潟県柏崎地域振興局農業振興部）